

公的医療機関等2025プランの概要

区分	信州上田医療センター	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院
現在の医療機能	<p>○許可病床数420床(一般416床、感染症4床) 高度急性期30床(ICU4床含む)、急性期286床 感染症4床、休棟100床</p> <p>○稼働病床数320床(一般316床、感染症4床)</p>	<p>・許可病床数:一般病床 123床 療養病床 293床 計416床</p> <p>・病床機能別:急性期(10:1)40床 回復期 196床 障害者(10:1)83床 慢性期 97床</p> <p>・救急告示病院(輪番医)</p> <p>・機能:回復期リハビリを中心に地域包括ケア病棟を有し、急性期後の医療から介護を中心としたシームレスな在宅サービスを提供するとともに、慢性期(神経難病及び意識障害等の患者)医療も提供しています。</p>	<p>・許可病床数:療養病床 237床 計237床</p> <p>・病床機能別:回復期 34床 障害者 80床 慢性期 123床</p> <p>・指定療養介護事業所(障害者総合支援法)</p> <p>・機能:慢性期及び指定療養介護を中心に回復期リハビリ病棟を有し、医療から介護を中心としたシームレスな在宅サービスを提供するとともに、慢性期(神経難病及び意識障害等の患者)医療も提供しています。</p>
	<p>内、精、脳内、呼内、消内、循内、腎内、血内、緩内、リウマチ、小児、外、整外、形外、脳外、呼外、心血外、乳外、皮膚、泌尿、産、婦人、眼、耳鼻い、リハ、放射線、歯口外、麻酔、病診</p>	<p>内、整外、脳外・リハ、呼内・神内 他11科</p>	<p>内、リハ、呼内・神内 他4科</p>
医療機関が抱える課題	<p>1 患者確保・病床稼働 現体制での現状以上の受入は限界に近づきつつあるため、必要とする診療科の受入体制整備を行い救急体制の強化を図る必要</p> <p>2 医療従事者確保 救急体制の強化及びがん診療連携拠点病院を目指すため、医師確保が必要。同様に、看護師の確保・離職防止が必要</p> <p>3 地域医療・介護連携 紹介率・逆紹介率共に地域医療支援病院の基準に達しているが、更なる連携強化が必要</p>	<p>・少子高齢化及び公共交通機関の後退等により、移動手段の確保が厳しくなっているなか、より身近な医療機関に入院等をする時代になってきています。(中山間地での立地条件)</p> <p>・労働人口減少に伴う医療従事者(医師・看護師・薬剤師・介護福祉士)の確保が困難になっています。</p> <p>・病院施設の経年劣化や旧面積基準等により療養環境が悪化しています。</p>	<p>・少子高齢化及び公共交通機関の後退等により、移動手段の確保が厳しくなっているなか、より身近な医療機関に入院等をする時代になってきています。(中山間地での立地条件)</p> <p>・労働人口減少に伴う医療従事者(医師・看護師・薬剤師・介護福祉士)の確保が困難になっています。</p> <p>・ライフラインの確保困難が、今後予想されます。</p>
課題を踏まえた将来の医療機能・担うべき役割	<p>1 上下構想区域の中核病院として、一般急性期に特化する必要あり。</p> <p>2 地域がん診療病院からがん診療連携拠点病院への移行を目指す。</p> <p>3 上下構想区域内での救急医療(三次を除く)の完結を目指す。</p> <p>4 ハイリスク分娩等高度な周産期医療の提供を引き続き維持</p> <p>5 脳卒中・急性心筋梗塞等の救急医療は、引き続き現状の取組を維持</p> <p>6 糖尿病・腎疾患について、急性期透析患者の受入を推進し、通院透析も引き続き現行機能を維持</p> <p>7 急性期中核病院として、地域連携の更なる機能強化を図る。</p> <p>8 地域災害拠点病院として、DMATを派遣する等の機能を維持</p> <p>9 エイズ治療拠点病院として、高度急性期/急性期など機能を維持</p> <p>10 看護師養成所の機能を維持</p>	<p>・病床数:現在は未定であるが、人口減少により病床数は過剰になると想定されることから、今後検討します。</p> <p>・役割:引続き、回復期リハビリを中心に急性期後の医療から慢性期及び、介護を中心としたシームレスな在宅サービスを、医師会と連携し提供します。</p> <p>・診療科:現在の診療科を継続します。(医師確保が前提)</p>	<p>・病床数:現在は未定であるが、人口減少により病床数は過剰になると想定されることから、今後検討します。</p> <p>・役割:引続き、指定療養介護事業所(障害者総合支援法)を中心に医療から慢性期及び、介護を中心としたシームレスな在宅サービスを、医師会と連携し提供します。</p> <p>・診療科:現在の診療科を継続します。(医師確保が前提)</p>
将来に向けた取り組みスケジュール	<p>2017年度 自施設の役割について、地域医療構想調整会議で協議</p> <p>2018年度 協議結果を踏まえ、具体的な病床計画を策定(関係者合意)</p> <p>2019～2020年度 協議結果を踏まえ、具体的な病床計画を策定</p>	<p>・経年劣化している病院施設の改築とともに病床数を検討します。(スケジュールは未定)</p> <p>・近隣公立病院との連携を模索検討します。</p>	<p>・病床数を検討します。(スケジュールは未定)</p> <p>・近隣公立病院との連携を模索検討します。</p>
数値目標	<p>○病床利用率 85.0% ○手術室稼働率 3,000件</p> <p>○紹介率 80.0% ○逆紹介率 80.0%</p>	<p>・検討中</p>	<p>・検討中</p>